

② 生活支援体制整備事業について

目 的

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、医療、介護のサービス提供のみならず、生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ります。

【 第1層、第2層生活支援コーディネーターの役割 】

第1層 鶴岡市地域包括ケア推進課に1名配置し、第1層協議体と連携した新たな生活支援サービスの創出、地域資源の開発やネットワークの構築、ニーズと取組のマッチング、第2層生活支援コーディネーターの支援などを行います。

第2層 各地域包括支援センターに1名配置し、担当地域における資源開発やネットワークの構築を行い、地域の関係者による多様な主体間の定期的な情報共有や、連携及び協働による取組などを進めるとともに、高齢者等の生活支援の取組を行います。また、第1層生活支援コーディネーターとともに住民主体による介護予防や生活支援の多様な担い手を養成し、住民同士の支え合いによる地域づくりを進めています。

（1）地域にある支え合い活動の把握、新たな支援の取組の創出

生活支援コーディネーターが地域に出向き、地域資源や生活課題の解決に向け、地域の支え合い活動を把握し必要なサービスとのマッチングや新たな地域の支え合い活動の創出など、支え合いのある地域づくりを支援します。

【R7実績】

- ・地域支え合い活動の把握 880件（通いの場、地域食堂、買い物支援、除雪支援 等）
- ・新たな地域の支え合いの活動の創出 13件（通いの場、地域食堂）

（2）鶴岡市地域支え合い情報誌「和と輪つるおか」作成（見える化の取組）

地域の支え合い活動の可視化（見える化）を行い、地域の支え合い活動の推進を図ることを目的に、地域支え合い情報誌を発行し、地域住民組織・関係機関に広く配布し、支え合いの地域づくりについて周知します。

【R7実績】

- ・掲載内容 11地域毎の通いの場や地域食堂の取組を紹介
- ・発行部数 5,000部
- ・配布先 町内会、自治会、民生児童委員、コミセン 等

(3) 鶴岡市地域支え合い活動研修会（見せる化の取組）

【R 7 実績】

- ・目 的 「通いの場」や「地域の支え合い活動」などを展開している団体の取組の内容を紹介することにより、活動の継続意欲の向上や、新規の立ち上げへの機運を高めるために開催します。
- ・実施日 令和7年11月22日（土）13:30～16:00
- ・会 場 出羽庄内国際村 国際村ホール
- ・テーマ 「支え合いのまちづくり～自分らしく生きるために食べる・動く・つながる～」
講師 山形大学 Well-Being 研究所 清野 諭 氏
- ・参加者数 60 人

(4) 鶴岡市担い手養成研修会

- ・対象者 地域で自分の力を活かしたい、地域貢献したい方
- ・内 容 通いの場の運営や日常生活支援の担い手となるために必要な基礎的な知識や技術の講習、通いの場の見学
- ・実施期間 令和7年7月30日(水)、7月31日(木)、8月29日(金)
- ・通いの場見学 令和7年8月1日、6日、8日、19日、22日、25日
- ・会 場 鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる他

【担い手養成研修修了者数】

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
30 人	19 人	18 人	14 人	12 人